

こども  
若者  
県政モニター

アンケート結果の活用報告

# 地球温暖化「未来の地球のために何をする？」

## <岐阜県の取組概要>

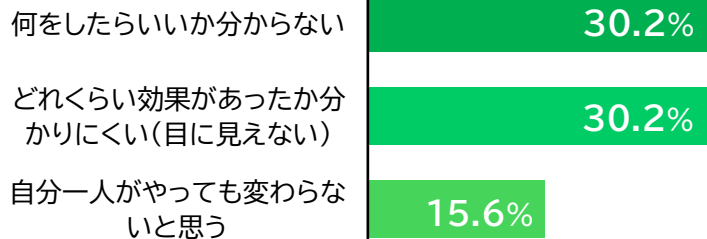
地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロとする「脱炭素社会ぎふ」の実現を目指して、環境学習や普及啓発活動を展開しています。

## <アンケート実施の背景・目的>

より効果的な環境学習及び普及啓発の方法や内容の検討に子ども・若者の意見を活用します。

## <アンケート内容・結果>

Q 環境にやさしい行動について、難しいと思う理由は何ですか。

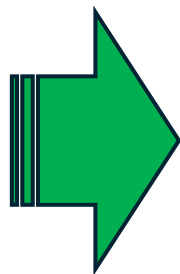


→「何をしたらいいかわからない」及び「どれくらい効果があったかわかりにくい」(30.2%)という回答が多くありました。

Q 地球の温暖化についての意見や、地球の温暖化を止めるためのアイデアがあれば教えてください。

- ・1世帯につき、二酸化炭素の吸収量が多くて成長が早い植物を1つ植えてもらう。
- ・街の中にも緑を増やす。 など

→植林や緑化に関するアイデアを多くいただきました。



## <結果を活用した施策や計画>

○「ぎふ環境教育副読本」への反映

県内小学校に配布している「ぎふ環境教育副読本」の内容を見直し、日々の生活の中で手軽に取り組みやすいように、環境にやさしい行動とその行動による二酸化炭素排出削減量が見えるページ等を追加しました。



▲環境教育副読本はぎふ環境学習ポータルサイトに掲載しています。

○子ども若者へのアンケート調査結果

(子ども若者県政モニターアンケートR7年度実施)

・「環境にやさしい行動について、どう感じていますか」という質問(385名が回答)に対して、7割が難しいと思わないと回答しています。

・一方、難しいと思う回答した方(96名)の理由をみると、「何をしたらいいかわからない」、「どのくらい効果があったかわかりにくい」が30.2%で最も多く県民へのアンケート調査と同様の傾向がみられました。



○「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画」への掲載  
県が策定する「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画」(令和8年3月改訂)にみなさんの意見を掲載予定です。

○「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」のプログラムに反映  
「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」秋・冬コースにおいて、みなさんの関心の高かった「植樹体験」のプログラムを開催しました。



# 地域学校協働活動「地域を楽しくするために何をする？」

## <岐阜県の取組概要>

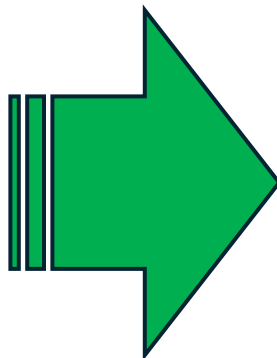
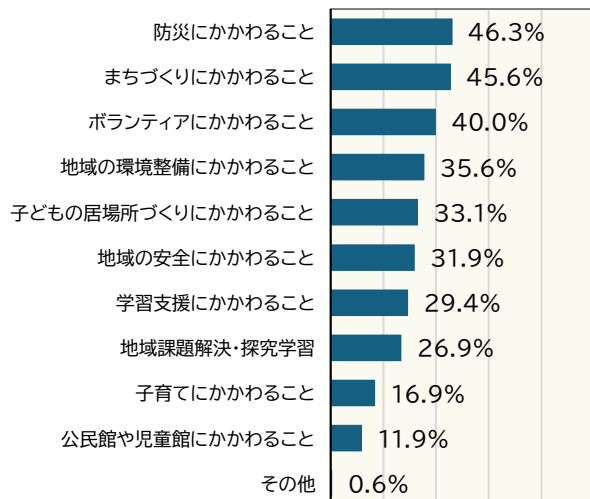
・地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」を推進しています。

## <アンケート実施の背景・目的>

・子どもたちの地域活動への参加状況や意識を把握し、「地域学校協働活動」の促進に活用します。

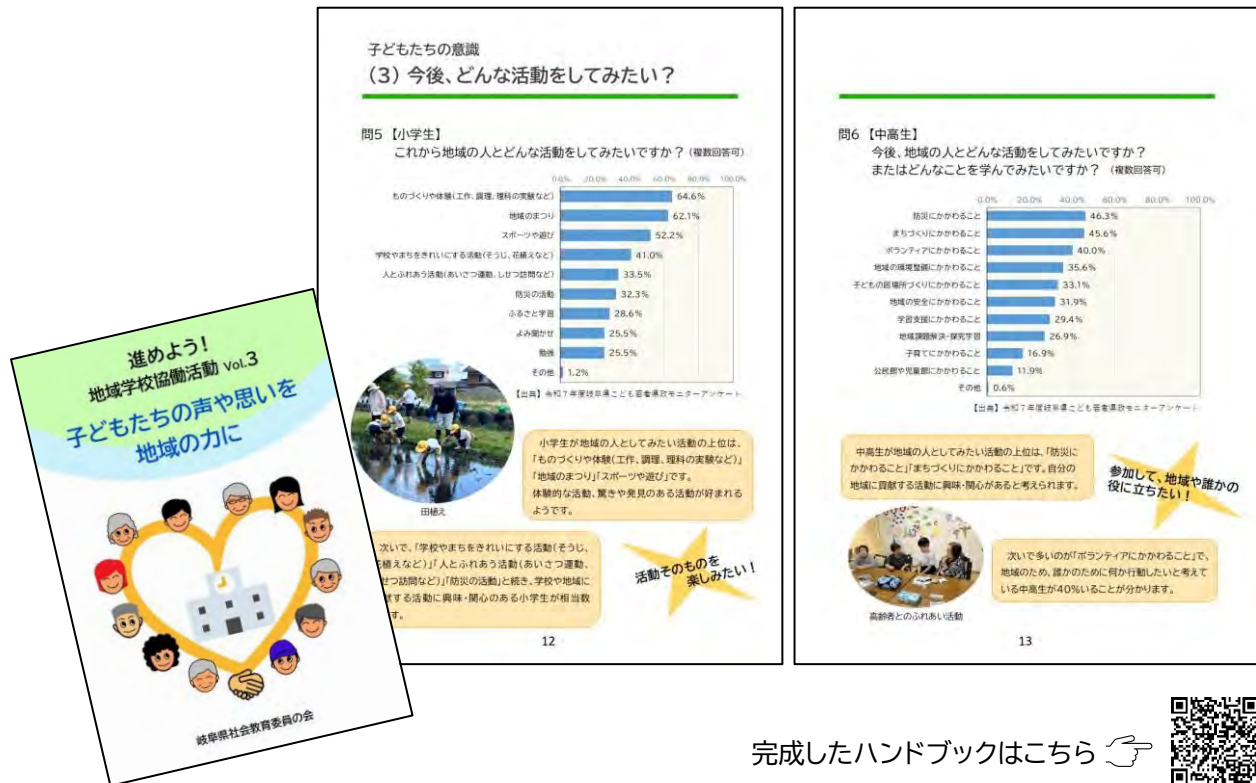
## <アンケート内容・結果>

Q【中高生】今後、地域の人とどんな活動をしてみたいですか？（複数回答可）



## <結果を活用した施策や計画>

◆ハンドブック「進めよう！地域学校協働活動 Vol.3 ～子どもたちの声や思いを地域の力に～」にアンケート結果を掲載。子どもたちの思いに沿った活動づくりのヒントや事例を紹介しています。



◆活動に携わる地域住民や学校関係者に対する研修会等の内容に反映します。

# 読書「みんなが図書館に行きたくなるために何をする？」

## <岐阜県の取組概要>

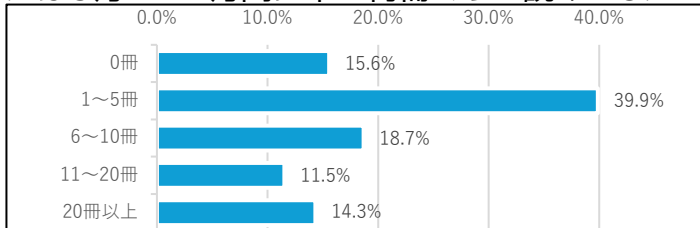
・2025年に『岐阜県子どもの読書活動推進計画(第五次)』を策定し、子どもの読書活動を推進しています。

## <アンケート実施の背景・目的>

・岐阜県の子どもの読書活動状況を把握し、読書をする人が増えたか、どうしたら図書館に行きたくなるかを把握するため実施しました。

## <アンケート内容・結果>

Q1.あなたは5月の1か月間に本を何冊ぐらい読みましたか？



Q2.本をもっと読みたくするためのアイデアを教えてください。

意見(抜粋) ・「本を紹介し合う機会をつくるのが効果的」  
・「司書さんのおすすめの本が知りたい」

Q3.学校の図書館やお家の近くの図書館をもっと使いたくなるためのアイデアを教えてください。

1位 イベントの工夫(21.4%)  
2位 サービスの工夫・資料の工夫(18.5%)  
3位 施設の工夫(14.2%)

意見(抜粋) ・「イベントがあったら行きたい」  
・「開館時間を長くしてほしい」  
・「子どもと大人のエリアが分かれてほしい」  
・「カフェを併設してほしい」

## <結果を活用した施策や計画>

・アンケート結果を教育委員会や県内公立図書館等と共有し、事業等に反映しました。

○高校生ビブリオバトル大会を実施

- ・発表者が「おすすめ本」を紹介し、「どの本が一番読みたくなったか」を選ぶゲーム
- ・岐阜北地区の高校司書による「ぎふと本～岐阜の学校図書館員が選んだ本～」の展示や図書館での歴代ビブリオバトル紹介本の展示を実施

→・発表者22名、観戦者80名が参加

感想 ・「様々なジャンルの本を知ることができた」  
・「自分の好きな本を紹介することができた」  
・「本好きの友達ができ」  
・「高校生の熱意のこもった素晴らしい発表をたくさん見て、自分の本に対する情熱も刺激された」

○「県民文化の森 夏のわくわくプロジェクト」の実施

- ・7/26～8/24に図書館・美術館で開催
- ・**じゃぶじゃぶ池、景品付きスタンプラリー、モーニング、講座やワークショップ、映画上映会等のイベントを開催**

→・図書館・美術館の来館者数は対前年同期比23.8%増(R6 61,411人→R7 76,019人)

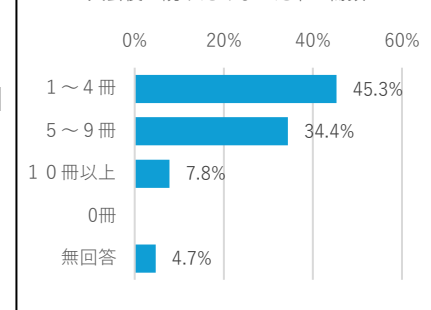
・令和8年度も夏・秋に実施予定

○令和8年度以降に実施

- ・**県図書館の開館時間を1時間早め、9時からとする**
- ・居心地のよい児童コーナーへの改修
- ・モーニングサービスのある**カフェの併設**



大会後に読みたくなった本の冊数



# 選挙「その一票が未来を変える！投票したくなるために何をする？」

## <岐阜県の取組概要>

岐阜県では、全ての有権者が選挙の意義を自覚し、進んで投票に参加するよう呼びかけています。特に、「若年層」に対する啓発や「親子連れ投票」の呼びかけを重点的に行っています。

## <アンケート実施の背景・目的>

選挙の投票に行く人が減ってきている中、子ども・若者の意見を参考に、もっと投票に行く人を増やすための施策に活用するため、アンケートを行いました。

## <アンケート内容・結果>

Q 県投票イメージキャラクターをどのように使っていると、選挙や投票が明るくきれいなイメージになるとおもいますか？ ※複数回答

着ぐるみを作って各地をまわる

16.7%

グッズを作って配る  
(自由意見)

16.6%

Xで面白い投稿をする、ステージイベントなどを増やす

Q どういうことがあれば、普段から選挙を身近に感じるとおもいますか？ ※複数回答

選挙の仕組みを分かりやすく教えてもらう

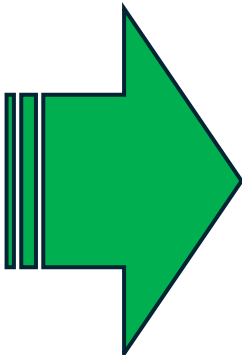
21.1%

みんなで話し合う場をつくる

14.5%

投票箱に触って選挙を体験してみる

13.3%



## <結果を活用した施策や計画>

- ✓ 県投票イメージキャラクター(鶺鴒めいすいくん・さるぼぼめいすいくん)による選挙啓発の発信を積極的に増やしています。



令和7年岐阜県議会議員岐阜市選挙区補欠選挙  
市橋小学校(親子連れ投票の呼びかけ)



県選管公式SNS(X)での呼びかけはこちらからご覧になれます

- ✓ 学校に対する出前授業や模擬投票等により、選挙の仕組みを分かりやすく伝える取組を進めています。

## <生徒の声>

- ・自分から情報を集めようとする姿勢が大切だと思った。
- ・選挙に対するハードルが下がった。



県立多治見北高校



岐阜大学祭



県立揖斐高校

## <生徒の声>

- ・投票を身近に感じられた。18歳になったら投票したい。
- ・説明が分かりやすく選挙や政治に興味を持てた。

# 農業「いただきます！ぎふのフード&アグリ大調査！」

## <岐阜県の取組概要>

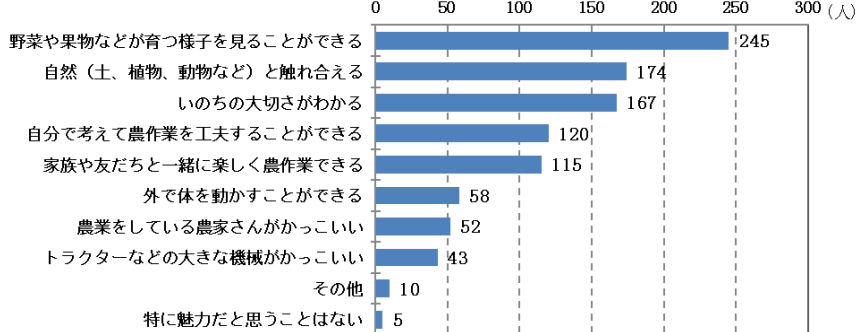
・県では、安全・安心で美味しい岐阜県産の農畜水産物を県民の皆さんに届けるため、農業を支える人づくりや、岐阜県産農畜水産物の消費拡大、地域の良さを生かした農村づくりなどに取り組んでいます。

## <アンケート実施の背景・目的>

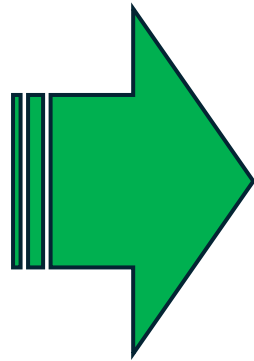
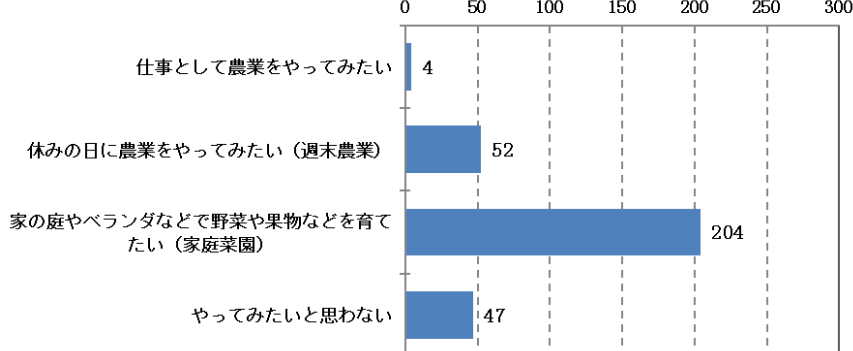
・令和8～12年度を計画期間とする「ぎふ農業活性化基本計画」の策定にあたり、こども・若者の意見を新たな計画の施策に反映するため、本アンケートを実施しました。

## <アンケート内容・結果>

Q 農業にはどのような魅力があると思いますか？



Q 将来、自分で 農業をやってみたいですか？



## <結果を活用した施策や計画>

○アンケートからわかった農業への思い

- ・野菜が育つ様子を見たり、自然と触れ合えるのが農業の魅力
- ・でも…仕事として農業を始めるのは難しい。週末農業や家庭菜園から始めたい。



新たな「ぎふ農業活性化基本計画」で

**アグリパーク構想の実行**に取り組みます。

**アグリパーク構想とは…**

○本来農業は「楽しい」もの

農産物を自分の手で一からつくと、野菜などが育つのが見ることができ、自然とも触れ合える。

さらに、新鮮で美味しい農産物を食べることもでき、売れば収入も得られる



○一方、農業を始めるには、農地の確保、技術の習得、農業機械の購入など、様々な壁（ハードル）が…



➡ まずは農業の楽しさを気軽に体験し、栽培ノウハウを学べる「場」を設けることで、参入ハードルを下げ、さらにその延長線上で、新たな農業の担い手を拡大していく構想

ぎふ農業活性化基本計画は令和8年3月に策定予定です。

# 農業「いただきます！ぎふのフード&アグリ大調査！」

<アグリパーク構想はこうやって進めます！>

農村に住んでいるが農業はやっていない人や、都市に住んでいる人など、いろんな人が農業に参加できる**重点モデル・支援のしくみの構築**

(支援の仕組み)

- ・農業機械・農地のマッチング
- ・おいしい農作物を育てる技術の支援

## それぞれの「楽しい農業・儲かる農業」の実現

将来、地域農業を引っ張っていく  
「本格農業」へステップアップ



参入障壁を下げる

**支援のしくみ構築**



「副業・兼業」による  
農業への参加

地域の特色を生かした**モデル構築**

県内在住

身近な都市圏  
(名古屋など)



美味しい農産物を自分の手で  
一からつくり、様々な収穫と販売  
を体験、喜びを実感



- ・近隣の直売所、  
飲食店等に販売
- ・ECで全国へ販売

収穫物を  
自家消費

自家消費を  
超える分

“楽しい”農業体験を通じたスタートアップの場

政策オリンピックを実施し、「スタートアップの場」を設置する団体を公募しました。  
令和8年4月から、県内各地で始動します！

岐阜県政策オリンピック

**アグリパーク重点推進モデル  
アイデア募集**

# 森や木の体験「教えて！森や木の体験！」

## <岐阜県の実施概要>

・県の面積(広さ)のうち、森の割合(森林率)は約81%で全国2位と高く、人が育てた森(人工林)と自然に育った森(天然林)があり、どちらの森も大切な役割をもっています。

・県では、大切な森を、守り、活かし、未来へと引き継いでいくため、森で働く人などと協力し、様々な森づくりに関する取組を進めています。

## <アンケート実施の背景・目的>

・森づくりに関する取組をまとめた「第5期岐阜県森林づくり基本計画」の作成にあたり、子どもや若者が、森についてどんな考えを持っているかを参考とするため、アンケート調査を実施しました。

## <アンケート内容・結果>

Q1 「大切だな」と思う森のはたらきや役割は？

- 1 野生の動物や植物の生息する場所(82.1%)
- 2 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する(77.5%)
- 3 山崩れや洪水などの災害を防止するはたらき(72.0%)

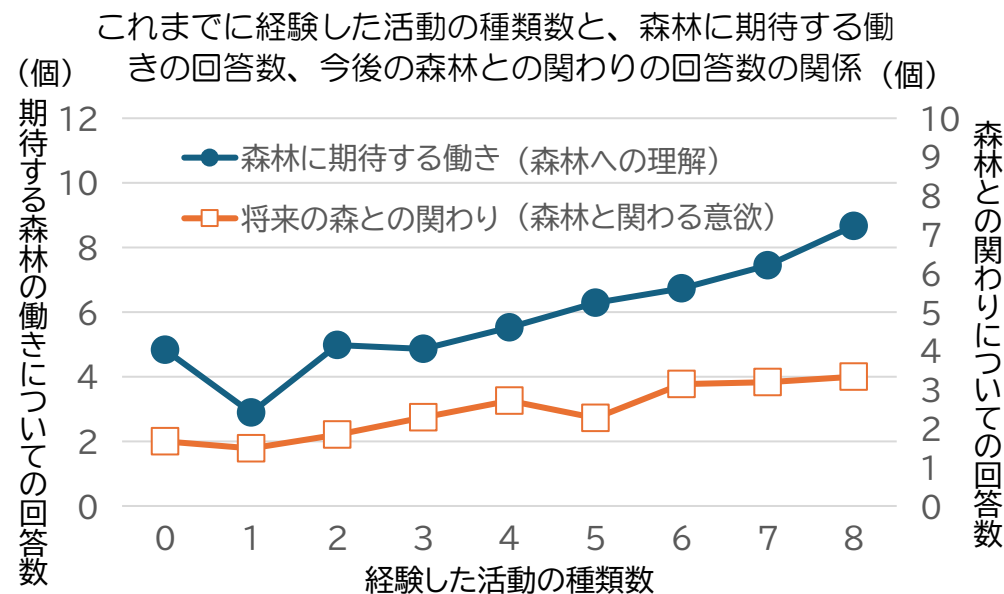
Q2 将来、森林のためにやってみたいことは？

- 1 木でつくられた家に住みたい(56.7%)
- 2 家具、食器や遊具など木材で作られたものを使いたい(48.2%)
- 3 木の苗を植えるなどの森の手入れのボランティア(33.9%)

・大人を対象とした、同じアンケートとは順位が異なっていました。(1位と3位が逆転)

## <結果を活用した施策や計画>

- ・「第5期岐阜県森林づくり基本計画」を検討するため、アンケート結果をもとに、詳しく分析を行いました。
- ・これまでに経験した活動の種類が多いほど、森林に期待する働きや、森林との関わりについての回答数が増える傾向がありました。
- ・様々な森や木の体験をすることで、森林の働きについての理解や、今後森林と関わる活動をしていきたいという意欲が高まると考えられます。



「第5期岐阜県森林づくり基本計画」の中で検討している取組

- ・子どもや若者が森とかかわる機会づくり
- ・生物の多様性に配慮した森づくり



森林の中で、こんなワクワク  
できる体験を増やしていくよ

# 県営都市公園「キミのひらめきが未来の公園を創る！」

## <岐阜県の実施概要>

県営都市公園(6か所)の施設整備や、維持管理、各種イベント等を通じて、安全かつ快適な魅力ある公園づくりを推進しています。

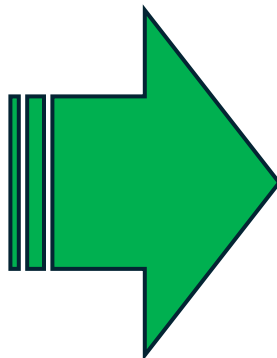
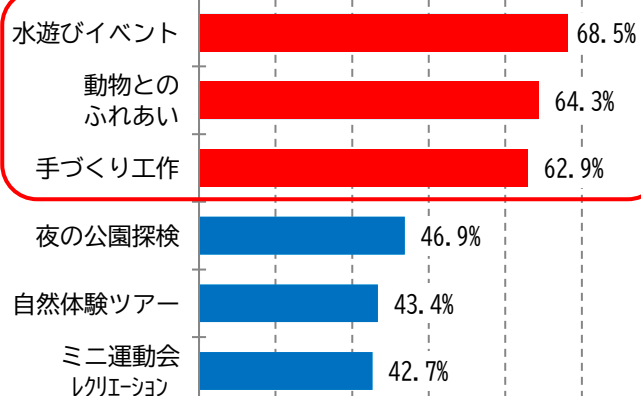
## <アンケート実施の背景・目的>

「みんなが行きたい、使いたい」と思う県営都市公園にするために、どうしたら、より良い公園になるのか、小中高生の意見を聞きました。

## <アンケート内容・結果>

Q.【小学生向け】

公園でどんなイベントに参加したいですか  
※複数回答



## <結果を活用した施策>

アンケート結果を踏まえ、年間を通じて「水遊びイベント」や「動物とのふれあい」などを実施したほか、子供たちが参加しやすい花やみどりに触れ合えるワークショップを企画・開催！  
今後も「みんなが行きたい、使いたい」県営都市公園を目指します！



ぎふワールド・ローズガーデン  
キッズサマー2025の様子



世界淡水魚園  
移動動物園の様子



クリスマスリースづくりの様子  
52名(うち子供23名)参加



カラー苔玉づくりの様子  
57名(うち子供20名)参加

# 消防団「まちのヒーロー」 消防団の魅力を広めよう！」

## <岐阜県の取組概要>

- 消防団員確保のため、イベントでの消防団活動の周知、出前講座の開催など様々な啓発活動を展開しています。
- 令和7年12月には、消防団の情報を集約した「ぎふの消防団ポータルサイト」を開設し、情報発信を強化しています。

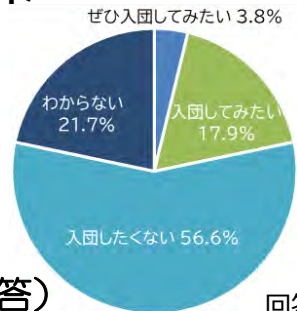
## <アンケート実施の背景・目的>

- 次世代の消防団を担うこども・若者への消防団活動の啓発に役立てるため実施しました。

## <アンケート内容・結果>

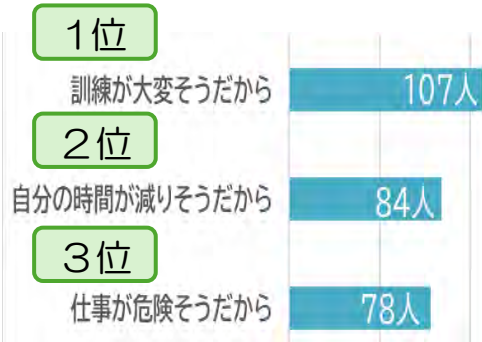
Q 大人になったら消防団に入団したいですか？

入団したくないと回答した人が、56.6%(164人)と半数を超えました。



Q 入団したくない理由は？（複数回答）

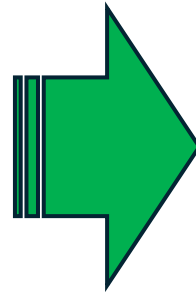
回答290人



回答164人

訓練の大変さや負担の大きさ、仕事が危険なのでは？といった心配が理由として多くありました。

その他、楽しくなさそう、自分が活動している姿が想像できないなどの回答もありました。



## <結果を活用した施策や計画>

消防団員の実際の姿を知ってもらうため、令和7年12月に開設した「ぎふの消防団ポータルサイト」のコンテンツを工夫しました。



サイト二次元コード

### 工夫1 団員インタビューの掲載

団員自身に、活動のやりがい・楽しさや仕事・家庭、学業との両立、活動における安全確保の取組などについて話してもらいました。

### 工夫2 消防団活動の集中的な発信



県内消防団の活動の投稿を集約し、タイムリーに発信。生き生きとした団員の姿を見ることができるようになりました。

### 工夫3 負担軽減に係る取組等の発信

今後、以下の記事をポータルサイトに掲載予定です。

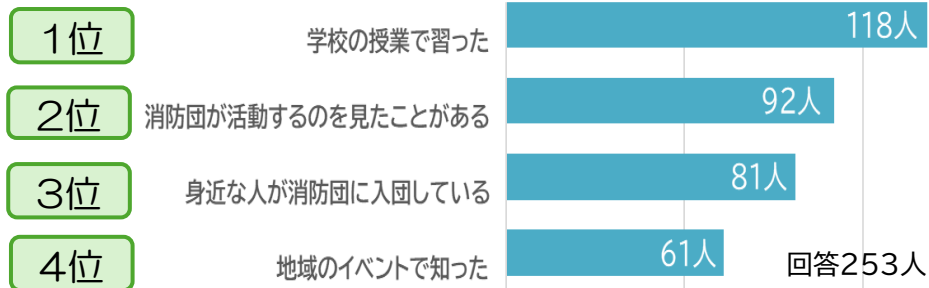
- 県内各消防団が取り組んでいる消防団員の負担 軽減の取組
- 消防団員の安全確保の取組

# 消防団「まちのヒーロー」 消防団の魅力を広めよう！」

## <アンケート内容・結果>

Q 消防団を知ったきっかけは何ですか？（複数回答）

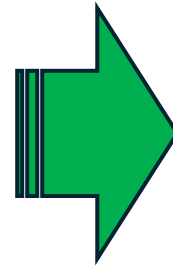
学校の授業や、消防団の活動を見かけたなど**普段の生活の中で消防団に触れ、自然に知る**ケースが多いことがわかりました。



Q 消防団を知ってもらい、その良さを伝える取組で、**見てみたい、参加してみたい**と思うものは？（複数回答）

消防団の訓練の見学や消防団の活動体験といった、**“見て体験”する取組に参加してみたい**と考える人が多いことがわかりました。

また、ベテランだけでなく**年齢の近い若い団員から活動の話を知りたい**という声も多くありました。



## <結果を活用した施策や計画>

こども・若者に、これまで以上に、**消防団活動を“見て体験”する機会**を提供していきます。



### 取組1 操法大会に小学生を招待

消防団の日頃の訓練の成果を発表する場である操法大会に小学生を招待。消防団員のかっこいい競技を見てもらいます。



「消防感謝祭」第74回岐阜県消防操法大会(令和7年度)

### 取組2 “見て体験”する機会の創出

市町村や県で行っている学校での出前講座やイベント等での消防団活動の周知を、これまで以上に**“見て体験”する要素を取り入れたもの**にしていきます。

また、**若い団員から話をしてもらったり、コメントをもらう機会**を多く設けていきます。



高校出前講座での放水体験の様子



イベントでのこどもの放水体験の様子

# リニア「時速500Km！キミなら「リニア」をどういかす？」



## <岐阜県の実施概要>

・岐阜県では、リニア中央新幹線の開業を見据え、岐阜県の地域づくりを戦略的に進めていくため、令和5年3月に「第2次岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」を策定し、取組を進めています。

## 【「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」とは？】

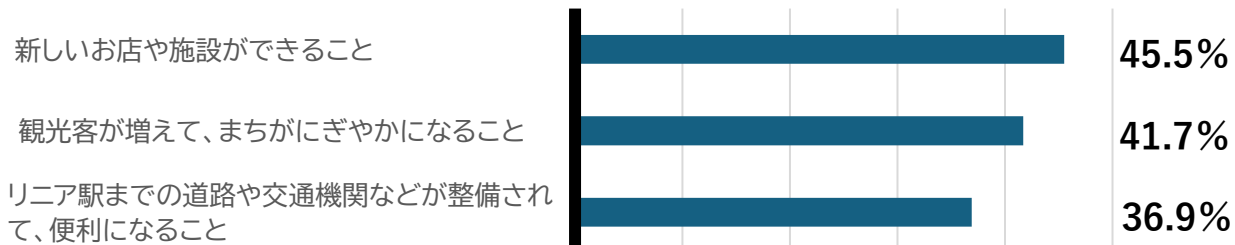
・リニアの開業を岐阜県が発展するための大きなチャンスと捉え、岐阜県が日本の真ん中でアクセスしやすい場所であることや、自然や食べ物などの豊かな地域資源があることなどをいかして、リニアを活用した地域づくりを進めるための計画。

## <アンケート実施の背景・目的>

・令和8年度に改定予定のリニア活用戦略に、リニア開業時に利用者となっている若い世代の意見を取り入れるため、岐阜県を「リニアに乗ってたくさんの方が訪れたい魅力的なまちにするアイデアを聴きました。」

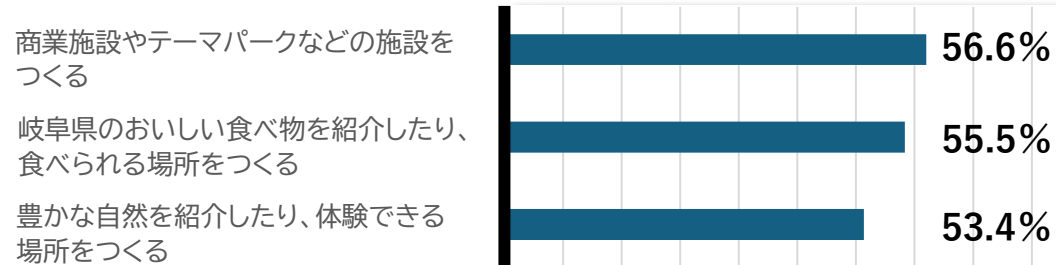
## <アンケート内容・結果>

Q.リニアができれば、どんなことに期待しますか。※複数回答



「新しいお店や施設ができること」(45.5%)を期待する声が高く、以下、「観光客が増えて、まちがにぎやかになること」(41.7%)、「リニア駅までの道路や交通機関などが整備されて、便利になること」(36.9%)に期待するという回答が多かった。

Q.どうすればリニアに乗ってたくさんの方が岐阜県を訪れてくれると思いますか。※複数回答



「商業施設やテーマパークなどの施設をつくる」(56.6%)が最も高く、以下、「岐阜県のおいしい食べ物を紹介したり、食べられる場所をつくる」(55.5%)、「豊かな自然を紹介したり、体験できる場所をつくる」(53.4%)という回答が多かった。



## <結果を活用する計画>

・県では来年度、「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」を改定することとしており、**岐阜県を、リニアを利用して「訪れてもらえるまち」、「働き住んでもらえるまち」にすることや、そのための道路の整備などに取り組んでいくことを考えています。**

・多くの人に岐阜県を訪れてもらえるよう、今回のアンケート結果**(岐阜県豊かな自然や食べ物を紹介したり体験できるような取組、リニア駅までの道路や交通機関の整備など)**を反映させた取組を、次期活用戦略に実施すべき取組として掲載し、それを実現できるよう進めていきます。

# 地域資源の発掘とPR「教えて！キミが住んでるまちの推し！」

## <岐阜県の実施概要>

・岐阜県は、自然、歴史、文化などの多様な観光資源を活用した世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりを推進しています。

## <アンケート実施の背景・目的>

・まだあまり人に知られていない地域資源を掘り起こし、国内外問わず、より多くの人に本県を訪れてもらうためにはどうしたらよいか意見聴取をするために実施しました。

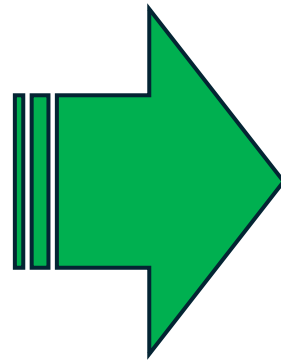
## <アンケート内容・結果>

Q.「自分だけが知ってる」と思う「岐阜県の好きなおところ」を教えてください。

- 1 自然、アウトドア(平湯温泉スキー場、各務原アルプスなど) (34.4%)
- 2 お祭り、イベント(揖斐川町のありがとう花火、八百津町の久田見祭り など)(22.3%)
- 3 食べ物(瑞浪市のポーノポーク、本巣市のまくわうり など) (19.1%)

Q.「岐阜県の好きなおところ」は、どうしたらもっと多くの人に知ってもらえると思いますか？

- 1 SNS(X、Instagramなど)やホームページで紹介する (39.1%)
- 2 PR動画を作って、テレビやYouTubeで紹介する (17.6%)
- 3 学校や地域で、岐阜の魅力を学ぶ授業やイベントを行う (16.5%)



## <結果を活用した施策や計画>

○西日本最大のスキーリゾートや、キャンプ場登録全国3位である本県のアウトドア・自然アクティビティを活用し、様々な関係事業者と連携したキャンペーンを新たに実施



○ホームページでの観光情報の紹介に加え、新たに開設した県公式Instagramで定期的に岐阜の魅力を発信

<岐阜の旅ガイドでの観光情報の紹介> <岐阜県公式 Instagramで情報発信>



<https://www.kankou-gifu.jp/>  
<二次元コード>



<二次元コード>



@PREFGIFU

# 伝統文化の継承

## 「100年先も続けよう！ぎふの祭り・郷土芸能を未来へつなげるアイデア大募集！」

### <岐阜県の取組概要>

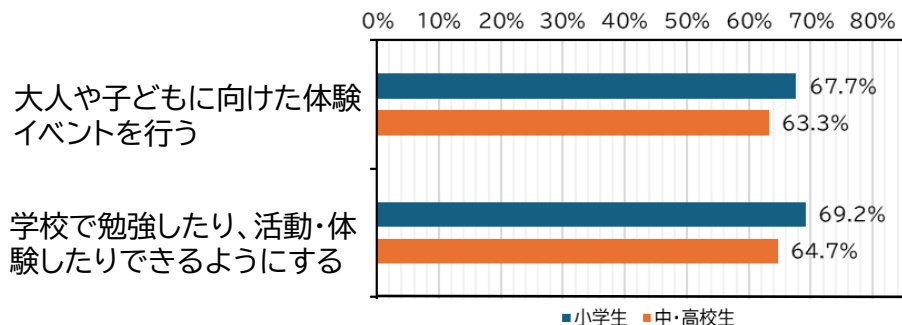
・岐阜県では、伝統文化を次の世代へ継承するため、衣装や楽器などの用具、舞台などの施設の修理・新調や、各保存団体が行う伝承教室や民俗芸能大会の開催、文化財を後世に伝えていくための記録保存等の活動を支援しています。

### <アンケート実施の背景・目的>

- ・岐阜県では、それぞれの地域で昔から大切に伝えられてきた「祭り」や「郷土芸能」が多く行われています。
- ・しかし、県内伝統芸能保存団体への調査では、約7割の団体が「活動していない」又は今後10年程度までしか継続できないと回答がありました。
- ・伝統文化を未来へ繋いでいくためには、将来の担い手となる小・中学生に興味・関心をもってもらうことが重要です。
- ・これから先もこれらを受け継いでいくための施策の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

### <アンケート内容・結果>

・「祭り」や「郷土芸能」をこれからも受け継いでいくにはどうしたらいいかという質問に対して、小学生と中・高校生ともに6割以上の方が「体験イベントを行う」や、「学校で勉強や活動・体験できるようにする」と回答



### <結果を活用した施策や計画>

・岐阜県では、「伝統文化に関するアンケート」の結果を踏まえ、小・中学校で地域の伝統芸能について知り、体験する機会を創出する「民俗芸能等出前講座」を令和8年度から新たに実施します。

#### ≪民俗芸能等出前講座の概要≫

- 趣旨  
子どもたちが地域に伝わる祭りや郷土芸能について理解を深めるため、民俗芸能等の保存団体と学校が交流し、芸能の紹介・体験、練習、発表を行う講座を実施
- 実施日等  
令和8年度中に1校あたり3回の講座を実施
- 場所  
県内小中学校(5校程度)
- 実施内容例  
※詳細は保存団体と学校との打合せで調整



【1日目】保存団体による民俗芸能の披露、鑑賞等

【2日目】保存団体の指導での練習

【3日目】児童・生徒による民俗芸能の披露



# こどもの権利「こどもの権利って知っていますか？」

## 岐阜県の実施概要

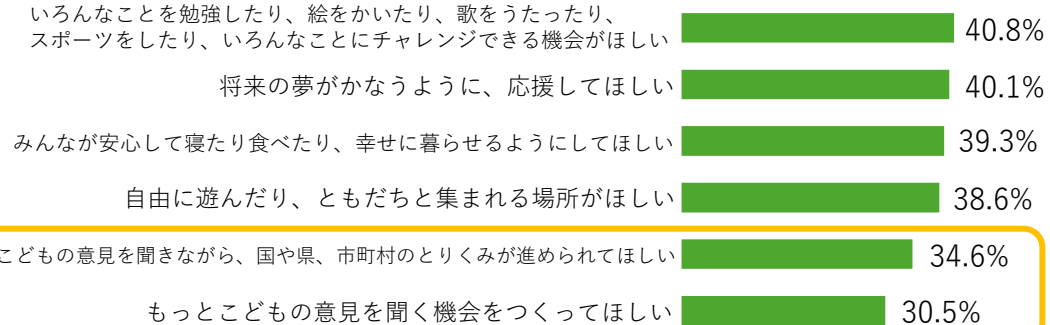
令和7年3月に策定した「岐阜県子ども計画」に基づき、こどもの意見を聴き、施策に反映する取組を進めています。

## アンケート実施の背景・目的

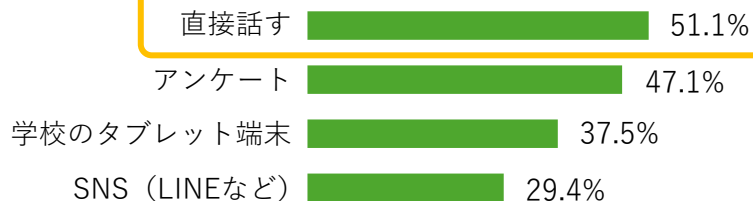
こどもの意見を大切にすることは「こどもの権利条約」に定められた基本的な考え方の一つであり、こどもの意見表明に関する施策に活用するため、アンケート調査を実施しました。

## アンケート内容・結果

Q あなたが家族以外の大人に意見を伝えたとしたら、どんなことを伝えたいですか。 ※複数回答



Q 家族以外の大人に自分の意見を伝える時、どんな方法だと伝えやすいですか。 ※複数回答



## 結果を活用した施策や計画

- 県庁内で使用するガイドラインにおいて、こどもは「直接話す」方法が、最も意見を伝えやすいと考えていることを明記
  - ✓ 各部局がこどもの意見を聞く場合は、直接聴く機会も増やすよう働きかけていきます。
- 未来を担う若者と知事が、県政や社会課題などについて意見交換をする「若者未来デザイン会議」において、参加者からいただいた提案に対する施策への反映結果を、知事等から直接報告
  - ✓ こども若者から直接意見を聴く機会を作り、こどもの意見が県の事業や政策に生かされていることを実感できる取組を進めていきます。
- 令和8年度から、小学生を対象に、県の仕事や県庁の仕組みなどについて学ぶ見学会をスタート
  - ✓ 単なる建物の見学会ではなく、県の仕事（施策）を紹介
  - ✓ 見学会では、県の施策に対して直接意見を聴く場も設け、より良い施策となるよう取り組んでいきます。

